

TOKYO

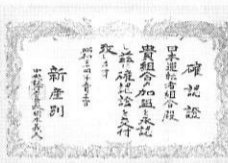
# 新 運 転

JTUC DRIVERS CRAFT UNION

発行人  
新産別運転者労働組合  
(略称・新運転)  
編集兼発行人 太田 武二  
〒110-0003  
東京都台東区根岸3-25-6  
TEL 03-5603-1300  
FAX 03-5603-5300  
mail: sinunten@sinunten.or.jp

## 新運転結成60周年の秋！ 関西・東京地本の 定期大会開催！

### 新運転 60周年の歩み 1959→2019



新産別運転者労働組合

結成60周年の一年の始まりは、2月15日、ホテルラングウッドで開催された祝賀会。「おかげ様で60年！新産別運転者労働組合結成60周年祝賀会」の看板の下、連合をはじめ労働組合関係、労金・国民共済c.o.p・労協協、国・都・23区の議会議員、生コン・清掃・タクシー業界、新運転関係者等100名を超えるご来賓の方々の参加を得て盛大に行われた。

そして、6月の埼玉地本、9月の滋賀地本を引き継いで、10月末から11月に、関西地本と東京地本の定期大会が相次いで開催された。詳細は地本だよりでの報告となるが、結成60周年の一年を締めくくると共に新たな歴史創造に向かう決意を固めた大会となった。

まずは、結成後の情勢と時代の激変を乗り越えてきた諸先輩への深い敬意を確認し、国家権力、資本と政党から独立した労働組合主義の原点を再確認して労働組合の労供事業の継承発展、労供事業法制定に挑戦していくことを誓い合った。

そして、一年間の活動総括の柱の一つが、日雇い雇用保険適用に関する厚労省の行政姿勢に對する是正の取り組みであった。しかし、地域間の労働需

要に対する供給調整を職安行政との両輪で担ってきた歴史的事実を現実の道に立ち戻らせるまでには至らなかった。更に、その過程で明らかになった1970年当時の労働省が作成した労働法コンメンタールの労供事業の「甲（供給元）」と「乙（供給先）」と「丙（労働者）」の三者関係の単純な表記ミスで、派遣法制定時の政府担当者や労働法学者も気づかずに図式化されてきたことを是正する取り組みも道半ばのままに残された。

その厚労省の労供事業に関する根本的な定義の誤りについては、現在大きな問題となっている「雇用類似の働き・曖昧な雇用関係」を労働組合として解決する道筋を拓くものであり、この間、連合の委員会や集会などに向うことを決意した大会だった。

最後に安倍政権との対決である。過去20年、大企業の内部留保と高所得者の金融資産が高まる一方、労働者の実質賃金の低下が止まらないにも拘らず、消費税増税とトランプ大統領と軍需産業に奉仕する高額軍需品の購入、沖縄辺野古の新基地建設強行、そして憲法9条の改悪を許さず政権交代を求めることなどが決定され、新たな10年、20年に向うことを決意した大会だった。

今年、労働者福祉中央協議会（略称・中央労協）の結成70周年の節目の年というところで、11月28日の午後6時、ホテルラングウッドで開かれたレセプションには、連合をはじめとする労働団体、労金や生活協同組合等の事業団体と地方労福協参加の400名以上が参加し、会場は満杯状態だった。記念映像の上映の後、介護予防・認知症予防及び里季生会長は、労協協設立の意義と成果、課題に触れながら予定されているアトラクションについて、労福協ならでのサプライズを期待してほしいと予告された。続いて、多くの来賓の中からトップの挨拶は、連合の相原康伸事務局長、そして、国會議員が紹介されたが、これも労協協ならでのラインアップで、最初に登場したのが自民党の森英介労政局長、続いて立憲民主党



中央労協協 結成70周年記念レセプション

### 中央労協協70周年記念 レセプション開催！



健康維持に効果的で即効性のある音楽活動をしている「日本音楽レ・クリエーション指導協会」堀口直子理事長の司会挨拶で始まった。主催者挨拶に立った相原康伸事務局長は、労協協設立の意義と成果、課題に触れながら予定されているアトラクションについて、労福協ならでのサプライズを期待してほしいと予告された。続いて、多くの来賓の中からトップの挨拶は、連合の相原康伸事務局長、そして、国會議員が紹介されたが、これも労協協ならでのラインアップで、最初に登場したのが自民党の森英介労政局長、続いて立憲民主党

の辻元清美幹事長代行、国民民主党の玉木雄一郎代表、公明党の古谷のり子副代表、社民党の福島みずほ副党首と続いた。

そして、歓談途中のアトラクションが紹介されたのは、正面演壇に書かれた「福祉はひとつ」！国際的に活躍しているダウン症の書家・金澤翔子さんの文字だった。また、70年の歌謡史に沿って司会のリードで会場全体で合唱する場面もあり、大いに盛り上がった中で締めとなった。

### 「私たちが未来を変える 〜安心社会に向けて〜」を開催！

去る11月12日、表題のシンポジウムが読売ホールで開催され、構成組織や地方連合会、一般の方も含めて約600名が参加した。冒頭に神津会長から「未来を変えていくために労働

運動として守るべきものと変えるべきことを議論することの意義、30年間で積み上げてきた連合の政策実現を通じて将来展望を拓くことの重要性、そして政策実現の向上や連合運動に関する理解浸透の更なる強化が必要」という趣旨の挨拶がなされた。

基調講演は、東京工業大学・西田亮介准教授より「これからの日本〜社会学の視点から〜」をテーマに、連合に対する期待・進めるべき取組

と企業の社会的役割の再考、「最低賃金約1.3倍×標準就業時間6時間化」などを提案された。

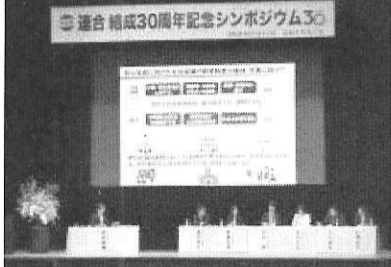
続いて、立教大学・首藤若菜教授より「これからの日本〜社会学の視点から〜」をテーマに、専門の労働関係論の視点から劣化した雇用状況に対して連合には責任があること、未来は過去・現在の延長線上にあることを踏まえれば、結成

以来の30年をしっかりと総括し、今後の道筋を描いてほしい旨の期待が示された。講演も踏まえておこなわれたパネル・ディスカッションでは、「私たちの未来を変えるために〜みんなの力をどうつなぐか」労働組合の役割は〜と題

して、相原事務局長をコーディネーターとし、西田准教授・首藤教授に加え、経団連・吉村隆産業技術本部長、台東区議会議員本目さよ氏、学生団体代表石山優太氏、連合東京杉浦浦会長をパネリストに迎えて、多様で活発な議論が展開され、相原事務局長が、立場や意見が異なるからこそ対話が必要であり、つながりをもつことに価値を見出したいと締めくくり閉会した。

連合は、「連合ビジョン」で掲げた「まもる・つなぐ・創り出す」の実践のために、様々な知見の獲得と連合運動の理解促進に向け、今後も各地域において今回同様

の趣旨でシンポジウムを開催していくとしている。



去る11月9日から11日にかけ、北海道函館市で、「平和・自由・人権 すべての生命を尊重する社会を 憲法理念の実現をめざす第56回大会」が開催された。開

会総会には道内各地をはじめ、全国から約2000人が参加していたが、今回労働組合の学習会と自連労働

大会が重なり、新運転は欠席となった。

藤本実行委員長の主催者挨拶の後、地元北海道実行委員長の本間秀春さんが歓迎の挨拶。また、地元来賓の函館市副市長の谷口論さん、地元選出の逢坂誠二さん、衆議院議員、連合副事務局長の山本和代さん、立憲民主党幹事長代行の辻元清美衆議院議員、社会民主党の吉田忠智参議院議員からそれぞれ連帯の挨拶を受けた。

そして、勝島事務局長から大会基調の提起があり、総会メイン企画として「日本社会は本当にこれでいいのか？」安倍政権の7年を問う」とのテーマで清末愛砂さん（室蘭工業大学大学院准教授）、雨宮処凛さ

は「函館空襲を記録する会」が受賞、大会アピールを全体的に拍手で確認し、次回大会開催地である滋賀県から代表挨拶と清末北海道実行委員長代行が閉会の挨拶を行い終了した。

「ひろば」が開催された。最終日の11日は閉会総会が行われ、沖縄、東京、道北朝鮮学校無償化問題それぞれ課題について発言を受けて勝島事務局長が大会全体をまとめを提起した。

続いて遠藤三郎賞表彰では「函館空襲を記録する会」が受賞、大会アピールを全体的に拍手で確認し、次回大会開催地である滋賀県から代表挨拶と清末北海道実行委員長代行が閉会の挨拶を行い終了した。

を問い終えた。

## 憲法理念の実現をめざす 第56回大会 北海道で開催！



9月の反原発全国集会や夏の参議院選挙の街頭演説でも元気に司会をされていた女優の内みどり氏が突然死された。その他にも友人、知人、組合員など身近なところでの突然の訃報が増えていくのが最近の実感である。その点について、矢ヶ崎克馬琉球大学名誉教授は厚生労働省の福島と全国各県の死亡統計資料を分析して、8年前の福島原発事故が原因だと断定されている。日本は今も「原子力緊急事態宣言」の下で住民保護・環境保護の法律を停止して国家による強制被曝と汚染が拡散し続けている。体内に入った放射線はDNA、細胞膜、神経伝達物質、血液やリンパ液、酵素やホルモンなどを破壊する。その結果、放射性物質のヨウ素131による甲状腺がん、ストロンチウム90による白血病、セシウム137による膀胱がん、心臓や脳、免疫器官などの疾病が多発しているのだ。ストロンチウムはカルシウムと同じ構造で白血病の他、脳細胞を破壊し、記憶障害や判断力を極端に低下させ、最近頻発している高齢者の自動車暴走事故や軽井沢のバス事故も被曝による脳傷害が原因だったとの説もある。超少子高齢化・多死人口減少が、8年前の3月11日を起点に急速に進行しているという現実がある。安倍政権による、隠蔽・改ざん、捏造は、モリ・カケ・桜や歴史認識問題だけではないということだ。

# 各地本だより

去る11月17日

## 東京地本

(日)、日本教育会館で開催された第64回定期大会。司会の菅原副委員長が開会の挨拶と議長の選出を語り、東支部の松島代議員とタクシー部の田村代議員が満場一致で確認された。

## 東京第64回定期大会



菅原新委員長

そして、大会書記任命と大会諸役員を議長推薦で承認後、太田執行委員長か

「今日は、日曜日にもかかわらず多くの代議員には第64回定期大会への参加が苦勞様です。又、早朝から区議会議員をはじめ多くのご来賓に参加いただき心から感謝申し上げます。今年

18年度経過報告と決算報告を川村書記長、2018年度の会計監査報告を石橋会計監査が行った。それに

続いて、河野達男新宿区議、杉浦賢次連合東京会長、佐藤正男東京交通労働協

会、高安邦彦日野労働協副議長、折井洋之新運転中

委員長の挨拶を受け、激電・メッセージ47通の内、私鉄総連東京のメッセージ

議長が読み上げ、全体の拍手で感謝の意を表した。

その後、浦田資格審査

議事運営委員長から大会成立の承認と大会日程、動議提出の提案が承認された。

大会表彰は、運転手718名、作業員376名の無事故無違反優良組合員

支部池田組合員に太田委員長から表彰状が送られた。そして議事に入り、20

手を緩めない野党の質問に、結果的に認めるなど、相も

一部の企業内供給労組の組合員は淘汰の嵐に巻き込ま

## 関西地本

季節外れの桜前線が国会が空転している。通算で憲政史上最長の首相在任

期間を記録したが、二閣僚の相次ぐ辞任、国税を使っ

た支持者への接待疑惑と足元はぼろぼろの安倍首相で

知らない、関与していないと強弁を続けるも、追及の

り、組合員は連日の就労で

中央本部から折井委員長、東京地本から太田委員長、滋賀地本から楠委員長



第59回定期大会の様子

全運転で事故防止と

冒頭の挨拶では、関西地区における生コン運転者供



生コン運転者供の代表者による挨拶の様子

キヤードの確保へとシ

執行委員長 白土武裕



大会会場での様子

衆参予算委員会の開催を要

この度、被災された方々には

暖化の影響とも言われてお

最後に労供概況ですが、

を清水選管委員長が読み

上げて全体の拍手で確認し

川村書記長から太田前委員

長の顧問委嘱提案を全体の

拍手で確認した。

続いて、大会決議案と大

会宣言案、大会スローガ

を満場の拍手で確認し、菅

原新委員長より決意表明と

閉会宣言がおこなわれ、団

結ガンパロー三唱をもって

全ての議事を終了した。

書記長 川村勝

今年、関東

を直撃する台風

に度々見舞われ

先月の台風19号

では埼玉でも河

## 埼玉地本

令和元年も

残すところ1ヶ

月となりました

今年、台風15

号、19号による

被害が各地であり、未だに

復興していない地域も多く

政府には自治体や被害を受

けた方々への支援を迅速に

進めて貰いたいものです。

さて、新天皇による「大

嘗祭」の行事など令和の幕

開けとなる行事も国民祝福

の中で終わったが、国会で

は今春の政府主催の「桜を

見る会」に於ける様々な疑

惑が噴出して来た。国の税

金で開催されているにも関

わらず、招待者の選出基準

た。

執行委員長 白土武裕

書記長 田中浩

最後にりましたが、滋

執行委員長 白土武裕

書記長 田中浩

最後にりましたが、滋

た。

## 中央労協協成70周年を契機に 労働者自主福祉運動の強化発展を目指そう!

労供労連事務局長 太田武二

1、「労働運動・労働者福祉運動の課題」の外の福祉を広げる

この項における3ポツの記述は、表題にあるように企業

の扉の中から中々抜け出せないで組織率を下げ続けてきた労働組合運動の課題が記述されている。

そこで我々が60年以上取り組んできた「労働組合の労働者供給事業」を「扉の外へと福祉を広げる」取り組みの一つとして紹介したい。

周知のとおり、敗戦直後の12月、帝国議会で労働組合法が制定された。その2年後の1947年、敗戦後の日本

社会が大失業や飢餓状態が続く中で職業安定法(略、職安法)が制定された。その第44条で、戦前の封建的労働慣行だった労働者供給事業(略、労供事業)を厳しく禁止する

一方、次の第45条で労働組合のみに例外として認めた。つまり、戦後の大混乱期の資本主義社会の民主的再建と発展に

必要不可欠な組織活動だとして位置づけられていたのだ。それは労働組合が、労働者の賃金労働条件改善に

止まらず職業紹介、共済、自主事業などの幅広い活動を通して「労働者の地位向上を図り経済の興隆に寄与すること」と当初の労働組合法の目的

から言ってもGHQ主導の欧米型労働組合が想定されていたと考えられる。

しかし、その後の労働組合運動の左傾化と冷戦に向か

2、「労協協成に求められる役割・機能と運動スタイル」の(1)から(4)の記載内容を全面的に賛同、感動してい

ます。その上で、オリンピック

ク・パラリンピック後に懸念されている社会経済の激変に

に対して、政治や行政だけに頼らず地域の様々な主体が「新しい公共」の担い手として支え合い、活気のある社会を作る中心に労協協成がどしどしと腰を据えるべきです。

具体的提案として以下の4点を提案します。

①これまで70年間、日本における最大のNGOである中央労協協成の理念と運動実績を築き上げ継承してきたことを広く社会に発信するために、一般公開講座、一般公開イベントなどをSNSやマスコミをも利用して実施する

そのことを通じて、現在参加している労協協成の枠を超えた労働者市民との「顔合わせ」の機会を作り、「心合わせ」の機会を拓く。

②これまで行ってきた多くの共助組織との「かすがい」「コーディネート」役から、地域における支え合い、助け合い、生活総合支援の仕組みを作っていくイニシアティブを発揮するためにも①の一般

に開かれた独自活動に取り組む。

③現在大きな役割を果たしている「ライフサポートセンター」の多くが、こくみん共済coop、連合地協などのオフィスビル内にあることから脱皮して地域の協同ネットワークの要役を果たすために、営ては賑わいを見せていた街中に散在する「空き家」と「空き店舗」の再利用に取り組む

と考える。

④財政基盤の確立については、現在の組織内から脱皮するために具体的な活動企画を公表して広く資金提供を求め「クラウドファンディング」を活用する。

以上。

以上。